

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

また、対象となる患者さんで研究参加を拒否したいと思われた方も、以下の「問い合わせ先」までご連絡下さい。その際には、研究の対象とはしないように致します。

[研究課題名] 麻酔高リスク患者に対する四肢遊離皮弁の成績と合併症

[研究機関] 帯広厚生病院整形外科

[研究責任者] 本宮真（帯広厚生病院整形外科手外科センター長）

[研究の目的] 遊離皮弁術は、四肢軟部組織欠損創を被覆する上で、非常に有用な手術治療ですが、長時間手術のため、一般的に全身麻酔で行われます。しかしながら、高齢者や基礎疾患を有する全身状態不良の症例に対する遊離皮弁術に対しては、麻酔による皮弁の血流への影響だけでなく、全身の合併症に関しても配慮する必要があります。これまで高リスク症例に対する四肢遊離皮弁術においては、最適な麻酔方法に関しては明らかにされておられません。

本研究の目的は、当科における麻酔高リスク患者に対する遊離皮弁を行った症例に関して、皮弁の成績および全身の合併症を調査すること、および麻酔方法による治療成績や合併症への影響に関して検討すること、です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん：2015年4月から2021年6月までに当院整形外科にて、四肢軟部組織欠損に対して遊離皮弁を受けた患者様のうち、アメリカ麻酔科学会における全身状態の分類でclass 3以上の患者様を対象としております。

●利用するカルテ情報

- ①年齢、性別、病歴情報
- ②皮弁の情報・手術の内容
- ③皮弁の成績と合併症
- ④麻酔中の血圧および心拍数の変化

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院 北海道帯広市西14条南10丁目1番地 電話 0155-65-0101
整形外科 担当医師 本宮真